

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度(評価)

- A: 十分達成できている
- B: おおむね達成できている
- C: やや不十分である
- D: 不十分である

学校名	唐津市立名護屋小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に向け、全職員による共通理解のもと学習規律の定着や家庭学習の充実を図る取組を継続して実践することができた。家読や必読図書については、それぞれの進捗状況を把握しながら全体的な取組としての更なる充実を図ってきたい。 ・月ごとの生活目標を意識した取組を継続して実践し、目標に向かって意欲的に取り組む児童の割合は90%を上回るなど、学校全体の取組としての成果が見られた。 ・地域や保護者に対して、本年度の教育の目標や重点取組、実践活動の様子などの発信・周知を継続し、理解と協力を得ることができた。また、新型コロナ対応に伴う各行事等の縮小や制限を見直しながら改善を図り、次年度の計画につなげることができた。
------------------	---

2 学校教育目標	ふるさとを愛し、夢に向かって自ら輝く児童の育成 ～優しく 賢く 逞しい名護屋っ子～
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>(1)豊かな心の育成(児童理解と支援の推進) ～自他のよさに気づきながら、朗らかさと温かな心で行動する子ども(優しく)～</p> <p>(2)学力向上の推進(分かる授業の実践と学力向上への取組) ～未知の世界に関心をもち、自ら進んで学ぼうとする子ども(賢く)～</p> <p>(3)健康づくり・安全指導の充実(豊かな体験活動の推進) ～精一杯体を動かし、最後まで粘り強く取り組む子ども(逞しく)～</p> <p>(4)地域に開かれた学校づくりの推進(家庭・地域との連携) ～ふるさとを深く愛し、夢と誇りをもてる子ども～</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価		5 最終評価		学校関係者評価	主な担当者
				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師を80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、定期的に数値を出し合って取組の促進を図る。						・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
	○学びに対する構えの定着	○海青中校区各学年の家庭学習目標時間の達成率を90%以上 ○家庭学習提出率90%以上 ○学習用具の準備率を90%以上	・学校だよりや学級通信、懇談会などで呼びかけ、家庭との連携を緊密にする。 ・毎学期、「学びの構えアンケート」をとり、進捗状況を確認する。						・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童全員が、「○○名人」に1回はなるようにする。 ○公の場で相手を尊重する呼称(さん)をつけることのできる児童を80%以上にする。 ○進んで挨拶できる児童を80%以上にする。	・生活のめあてに準じて、月ごとに○○名人の氏名を放送し、めあて達成への意識付けを行う。また、年間を通してめあての達成者を掲示し、動機付けを行う。 ・「～さん」と言えているかどうか、○○名人でも確かめ、評価する。 ・挨拶に対する達成度を自己評価する機会を設けたり、挨拶運動週間を設ける。						道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者 各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○Q-Uテストで「学級生活満足群」の割合を70%以上にする。 ○いじめ未解決案件を0件にする。	・心のアンケートを学期に一回実施し、状況把握と児童の困り感の解決に努める。 ・Q-Uテストの結果を基に、SCやSSW等と協力しながら良好な対人関係を築く。						(主)生徒指導主事 (副)各学年主任
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●児童へのアンケートにおいて、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童の割合を90%以上にする。 ●◎児童へのアンケートにおいて、「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒を85%以上にする。	・校内研究の充実をはかり、楽しく分かる授業を展開するように努める。また、各教育活動において、児童への称賛的な声掛けや支援を意識した指導を行う。 ・努力して達成可能な年間の目標や各学期のめあてなどを立てさせると共に、それに向かって自ら率先して行動に移せるように環境を整え支援を行う。						教務主任
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童80%以上	・教員や委員会からの広報により外遊びを奨励したり、外遊びをよくしている学年を称賛したりする。スポーツ委員と連携し、全校遊びに取り組み。 ・スポーツチャレンジの記録を毎回更新しようとする意欲を継続するために、記録を掲示したり学級だよりで広報したりする。 ・学級指導や保健だよりで食事の大切さを伝えていく。 ・健康観察記録表に月毎に食の大切さを意識できる標語を載せる。						保健主事 栄養教諭 学校栄養職員 食育推進担当者
	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童100%							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・会議資料のペーパーレス化を推進する。 ・会議の時間短縮と回数の削減に努める。 ・校務分掌が特定の者に集中しないよう配慮する。						管理職
	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域に開かれた学校づくりの推進	○家庭・地域との連携 ○学校の教育方針並びに教育活動の広報	○地域の人材を活用した体験活動や地域と関連した行事に年間4回以上取組む。 ○学校における教育活動の様子を家庭や地域に向けて積極的に発信する。	・文化遺産 名護屋城址等について、地域の人と共に学び関心をもつようにする。 ・地域行事への参加・協力を勧める。 ・学校だよりの発行や学校HPの更新等に努める。							管理職
○特別支援教育の推進	○特別支援教育の充実	○定期的に校内特別支援委員会等を開催し、教員間で情報共有・共通理解を行い、特別支援教育の充実を努める。	・児童が心身ともに安定した学校生活を送れるよう個人の特性を認め、肯定感情を高めあう雰囲気づくりに努め、常に寄り添った指導・支援を心掛ける。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--